

磐城時報

編輯部 印刷部 發行部
印刷所 磐城時報社
發行所 磐城時報社
廣告料 一行十二字 日五錢
日刊(日曜祝祭日) 翌日休刊

盤上火花を散らした

棋仙の集會

故川井重之氏を中心に
懷舊談で賑はふ

石城園棋界を代表する「棋宴に移り當番幹事鈴木康平仙の集會」第九回大會は一氏の挨拶、佐藤庄太郎、安試合は午後二時から磐中球、屋旅館別館樓上に開催

渡邊、遊友鈴木木村
平鐵道15-5平俱
平30010100005
鐵10123134A15
木、平俱酒井、西脇
バツテリ鐵道田中、鈴
△決勝戦
古河7-4平鐵道

古河7-4平鐵道
二壘打石田、川瀬、三壘打
田中、宇島、森下、大槻
本壘森下

石城園棋界を代表する「棋宴に移り當番幹事鈴木康平仙の集會」第九回大會は一氏の挨拶、佐藤庄太郎、安試合は午後二時から磐中球、屋旅館別館樓上に開催

石城園棋界を代表する「棋宴に移り當番幹事鈴木康平仙の集會」第九回大會は一氏の挨拶、佐藤庄太郎、安試合は午後二時から磐中球、屋旅館別館樓上に開催

石城園棋界を代表する「棋宴に移り當番幹事鈴木康平仙の集會」第九回大會は一氏の挨拶、佐藤庄太郎、安試合は午後二時から磐中球、屋旅館別館樓上に開催

石城園棋界を代表する「棋宴に移り當番幹事鈴木康平仙の集會」第九回大會は一氏の挨拶、佐藤庄太郎、安試合は午後二時から磐中球、屋旅館別館樓上に開催

石城園棋界を代表する「棋宴に移り當番幹事鈴木康平仙の集會」第九回大會は一氏の挨拶、佐藤庄太郎、安試合は午後二時から磐中球、屋旅館別館樓上に開催

平鐵道軍を破り

古河炭礦優勝

野球豪華版
磐陽野球大會

磐城審判協會主催東京朝日古河炭礦優勝した、結果左
新聞平通信部後援第十二回の如し
磐陽野球大會は一日午前九
時から磐中、平南兩球場で
準決勝戦を行ひ午後一時か
ら磐中球場で古河炭礦對平
鐵道の決勝戦を行つた結果
兩軍ベツテリ古河川瀬平

古河炭礦13-4平遊友
1000200104
03104005013

古河炭礦13-4平遊友
1000200104
03104005013

紺屋町に怪火

平署で放火と睨む

一日夜九時半頃平町紺屋町舉人名簿を来る五から十五
糸店石橋徳三郎方物置から日間毎日午前九時から午後
四時迄一般に縦覧せしめる
止めた、原因は平署で取
調べ中であるが放火の疑ひ
濃厚である

一日夜九時半頃平町紺屋町舉人名簿を来る五から十五
糸店石橋徳三郎方物置から日間毎日午前九時から午後
四時迄一般に縦覧せしめる
止めた、原因は平署で取
調べ中であるが放火の疑ひ
濃厚である

勅令發布

紀念式典

平軍友會並に軍人分會では
三日明治節の佳辰をとし松
ヶ岡公園忠魂碑前軍人會
勅令發布紀念式典並に軍友
會總會を開き終つて園遊會
を催す午後二時半からは
和田中將の講演會がある

平軍友會並に軍人分會では
三日明治節の佳辰をとし松
ヶ岡公園忠魂碑前軍人會
勅令發布紀念式典並に軍友
會總會を開き終つて園遊會
を催す午後二時半からは
和田中將の講演會がある

選舉名簿

縦覧期日

町有林の
松木競賣

町有林の
松木競賣

職工風の男

稻荷山墜道で自殺

小田氏が
忠魂史寄附

三十一日午前九時半頃平町
揚土稻荷山トンネル附近常
磐線に年輪二十三才前後青
色の作業服を着た一見職工
らしい體格のある若者を發見
署員が検視したが懷中に簽
居住してゐるが一昨三十一
日四倉小學校に靖國神社忠
魂史五巻價格五十餘圓を寄
附する手掛りなく各所附した
に照會中である

三十一日午前九時半頃平町
揚土稻荷山トンネル附近常
磐線に年輪二十三才前後青
色の作業服を着た一見職工
らしい體格のある若者を發見
署員が検視したが懷中に簽
居住してゐるが一昨三十一
日四倉小學校に靖國神社忠
魂史五巻價格五十餘圓を寄
附する手掛りなく各所附した
に照會中である

豊間村長

京都御所拜觀

石城郡豊間村は模範村とし
て再三縣や農林省から表彰
されて來たが村長鈴木藤次
郎氏は同村の功勞者として
京都御所離宮等の拜觀を宮
内省から差し許されたので
九日夫人になさんさんを伴ひ京
都赴き事になつた

石城郡下三十五軒の酒造家
に對する本年度酒造稅第一
期分は總額十四萬二千六百
四十四圓八十五錢の巨額年
無事納期の今三十一日午
前中に納入となつた、一
期分は仕込み直後に於ける
矢繼早の大金調達に於ける
夙からその成行を懸念
されたが賣掛の回収に努力
を凝らす結果となるので右に
關する今後の動向は地方當
業者から非常な關心を以て
注視されてゐる

災害工事

大井技師検査

平土木監督所管内十一年度
災害工事は来る八日から三
日間内務省大井技師外四名
が出張検査する
工事箇所は河川四十四ヶ
所を筆頭に橋梁四、道路
十二ヶ所合計六十三ヶ所
である

平土木監督所管内十一年度
災害工事は来る八日から三
日間内務省大井技師外四名
が出張検査する
工事箇所は河川四十四ヶ
所を筆頭に橋梁四、道路
十二ヶ所合計六十三ヶ所
である

水産商業校

校旗樹立式

四倉町商業水産青年學校に
於ては明三日の明治節の賀
辰を以て午前十時より同
校旗樹立式を執行する

四倉町商業水産青年學校に
於ては明三日の明治節の賀
辰を以て午前十時より同
校旗樹立式を執行する

神經衰弱の事務員

歸郷して縊死

磐崎村西郷字金山、忠一郎防組頭會は今二日午後一時
弟大平秀之助(三〇)は一日より同會議員室に開き左の
件を附議した
午前零時頃自宅で縊死を遂げ、一來る十二月一日全國一齊
防火デー實施に關する件
經衰弱にかへり、一
てゐたが昨秋から東京市
在原區戸越町松井機械店の
事務員に雇はれ三十一日夜
歸郷したもので病氣を悲觀
したものらしい

磐崎村西郷字金山、忠一郎防組頭會は今二日午後一時
弟大平秀之助(三〇)は一日より同會議員室に開き左の
件を附議した
午前零時頃自宅で縊死を遂げ、一來る十二月一日全國一齊
防火デー實施に關する件
經衰弱にかへり、一
てゐたが昨秋から東京市
在原區戸越町松井機械店の
事務員に雇はれ三十一日夜
歸郷したもので病氣を悲觀
したものらしい

爲若干の安値を犠牲とし
て新酒早賣りを決行したな
るが目下ボラ、紺その他釣
ど百方奔走の結果こゝに漕
ぎつけたらしく毎年今期に
盛會を豫想されてゐる
○る苦心の程が想像される
因に懸案の新稅法が實施さ
れると従來の後納(前年度
の釀造を今年度内に納稅)
稅金と査定濟の現在により
二ヶ月毎に納する新法の課
稅とが過渡期間中に於て競
合する結果となるので右に
關する今後の動向は地方當
業者から非常な關心を以て
注視されてゐる

小名濱町
町民體育大會
小名濱町主催町民體育大會
は三日明治節當日同町小學
校で舉行する

小名濱町
町民體育大會
小名濱町主催町民體育大會
は三日明治節當日同町小學
校で舉行する

小名濱町
町民體育大會
小名濱町主催町民體育大會
は三日明治節當日同町小學
校で舉行する

小名濱町
町民體育大會
小名濱町主催町民體育大會
は三日明治節當日同町小學
校で舉行する

小名濱町
町民體育大會
小名濱町主催町民體育大會
は三日明治節當日同町小學
校で舉行する

小名濱町
町民體育大會
小名濱町主催町民體育大會
は三日明治節當日同町小學
校で舉行する

小名濱町
町民體育大會
小名濱町主催町民體育大會
は三日明治節當日同町小學
校で舉行する

小名濱町
町民體育大會
小名濱町主催町民體育大會
は三日明治節當日同町小學
校で舉行する

小名濱町
町民體育大會
小名濱町主催町民體育大會
は三日明治節當日同町小學
校で舉行する

拜啓秋冷の候益々御清移の段賀上げ候陳れば校醫酒井國三郎先生は明治二十九年本校創立の際就任爾來本日に至るまで満四十ヶ年勤続せられたるは爰に賞として賞状の贈呈せられ居り候就いては來る十一月三日明治節の吉辰を卜し一は謝恩の微意を表し度同日午前九時これが顯彰式を舉行致すべく候間何卒御臨席の榮を得度此段御案内申上げ候

追白 當日左記要領により酒井先生勤続祝賀會相催し候に付御出席相願ひなほ準備の都合も有之候間御出席の有無御知らせ願上候

一、會場 住吉屋本店
一、時間 午後五時
一、會費 金貳圓五十錢

昭和十一年十月
福島縣立磐城中等學校
校友會長 小樽山久作
同窓會長 關内正一

卒業生各位

外交員至急募集

固定給 三十圓以上
確實なる保証人を要す
希望者は履歷書持本人面談

福島縣平町三丁目
著音器商 天地堂本店
電話五八九番

千やなぎの御注文は
いか切込

是非 仙魚店へ

美 味 味：体裁優美は
當店のモットーです

鮮魚仕出し 丸仙

電話六六二番

酒 銘

三 菱

醸造石數四千石
昭和二年以來連續優等入賞

元 造 釀
郡山村西縣形山
郎三矩規樂設

御披露中特價一、四〇

平町田町 永山酒店
電話二〇七番

松茸料理始めました

松茸とびんむし

はもなべ	三十錢
煮込なべ	三十錢
鳥 なべ	三十五錢
豚 なべ	三十五錢
牛 なべ	三十五錢
よせなべ	三十錢
ちりなべ	三十錢

平三警憲署通

魚清食堂

電話六三三

消食散

家傳靈藥
相馬 丸
一名かけの藥

代理店 丸龜商店
平町大町
電話一三三番

互融會事業近況

融通自九月一日現在
報告至九月卅日

融通會員數	四、六二六口
世帯數	三、三二三戸
積立金	三六、〇三三、三三三錢
融通金數	六六、五〇〇
融通金額	一、八六六、七〇〇
融通金回収高	九、二六二、〇〇〇

太平火災海上保險株式會社中央代理店
石城中小商工互融會

事務所 福島縣平町橋小路一番地
小名濱方部 湯本方部
小名濱町古港 湯本町天王崎
菊田方部 湯本町支部
植田町支部 原町支部

昭和タクシー

平驛前

電話三四〇三番

おまほ大

折詰仕出

お物採用さつま揚。吉原揚

平町一丁目

不 着 室

電話一四一號

通學用冬服賣出し

御待兼ねの通學服が全部取揃ひました
いづれも、型・生地・裁違、北に入念なる
製品です

國防色冬服	4.10
6 號	各寸20センチ上
黒小倉服	3.50
6 號	各寸20センチ上

ふかや洋服店 平三電203

父恒吉儀

永らく病氣療養中の處藥石無効本日午前七時死去仕候間此段御通知申上候

追て葬送の儀は十一月三日午後一時自宅出棺平塚村大字大室大運寺に於て佛式により執行致すべく候

十月三十一日

喪主 松崎長太郎
親戚總代 松崎房治郎